

事務 事業名	コード1	1900	広報活動費	課	秘書広報課					
	コード2	②	市勢要覧		広報広聴班					
			☐ 主要事業	電話番号	62-8070	内線	230			
施策 体系	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり	予算	会計			款	項	目
	施策	1	市民参画・協働の促進	科目	一般会計			02	01	03
	施策の展開	3	広報活動の充実	根拠 法令	なし					
	基本事業	327	市勢要覧の作成							

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 24 年度～ 平成 25 年度まで ※全体像を記述⇒	・旭市の勢い「人口・産業・経済・施設など各分野の情勢」を紹介する旭市市勢要覧を発刊し、市民をはじめ関係機関(市外も含む)に提供することで旭市を広くPRする事務事業。(平成24・25年度2か年の業務委託事業) ・業務概要／●業務:取材、データ収集、写真撮影、発刊等 ●発行部数:23,000部 ●規格:A4判カラー、右とじ、表紙4P、本文48P、資料編12P ・配布方法／①区を通じて配布、②郵送(関係機関、希望者)、③全部転入世帯(転入手続き時)、④本庁・各支所で配布、⑤HPにてPDFファイルなどで格納し公開。 【業務の流れ】 平成24年に4社(1社辞退)による企画コンペ実施→委託業者決定→24年度発刊準備(打合せ、取材、データ収集)→25年度発刊・配布(取材、校正、発刊、配布)

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)	単位:千円
1. 市勢要覧作成委託料	3,941
旭市市勢要覧作成支援業務委託	
	0
	0
	0
	0
【前年度比増減理由】債務負担行為に係る契約のため	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)	単位:時間
■打合せ:企画内容協議	8時間
■取材協力:日程調整、データ収集、立会い	24時間
■編集:校正	104時間
■配布:①区を通じて、②郵送で、③全部転入世帯に、④本庁・各支所で	8時間

事業費	費目内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	1. 市勢要覧作成委託料	千円		2,254	3,941	
人件費	正規職員従事人数	人		0.04	0.07	
	延べ業務時間	時間		72	144	
事業費計(A)		千円	0	2,254	3,941	0
うち一般財源		千円		2,254	3,941	
人件費計(B)		千円	0	274	547	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	2,528	4,488	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・旭市市勢要覧を発刊し、市民や関係機関に配布した。	ア「旭市市勢要覧」発行部数	部			23,000	
目的	26年度計画(26年度に計画している主な活動) なし	イ「旭市市勢要覧」配布部数	部			19,000	500
		ウ	部				
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	ア 市民 イ 関係機関	ア 人口(4月1日現在)	人	69,749	69,223	68,725	68,241
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	ア 旭市の魅力を再確認してもらう。 イ、ウ 旭市を知ってもらう。	ア 市勢要覧配布割合(配布部数／発行部数)	%			82.6	84.7
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ 市勢要覧配布世帯の割合 (市勢要覧配布世帯／世帯数)	%			76.0	78.0
	・市民がイベント・行事に参加する。 ・市民と市役所が情報を共有できる。	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
上位目的		ア 広報紙、ホームページ等を見てイベント・行事に参加した市民の割合	%	未把握	未把握	未把握	未把握
		イ 市ホームページのアクセス件数	件	未把握	65,000	65,000	65,000

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・市民をはじめ市外にも、旭市の人口・産業・経済・施設など各分野の情勢を紹介し、旭市をPRするために始めた。	・読ませる紙面から、見せる紙面に変わってきた。 ・前回は平成20年(2008年)に発行。	・特になし

事務事業名	広報活動費 市勢要覧	課名	秘書広報課	班名	広報広聴班
-------	---------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・旭市の人口・産業・経済・施設など各分野の情勢を紹介する旭市市勢要覧を発刊し、市民をはじめ関係機関(市外も含む)に提供することで、旭市を広くPRすることができる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・対象は、市民をはじめ市外にも旭市を広くPRするため、市民及び全部転入世帯、市外を含む関係機関としており適切である。また、意図についても旭市を広く認知してもらうことであるため、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・「旭市市勢要覧」の発行は、旭市の市勢を市民をはじめ市外にも旭市を広くPRすることが目的であるため、市が実施することは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・近隣市町の担当者情報交換会などで評価をうけたこともあり、また送られてくる他市町の要覧と比較しても、企画内容、完成度等、ある程度水準に達していると考ええる。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 ・情報を集約するなどして、簡素化した誌面づくりを検討する。また、文章より写真を多く使い、読ませる紙面から、見せる紙面の採用を検討する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(くらしの便利帳、ガイドマップ) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・3年に一度発刊している便利帳は行政の制度情報などを発信。ガイドマップは携帯できる旭市のガイド。各冊子とも役割が違うため連携・統合は難しいと考える。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・情報を集約するなどして、誌面を簡素化することで、事業費の削減余地はある。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・情報を集約するなどして、誌面を簡素化することで、業務時間の削減余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内全戸への配布を行うため、区未加入世帯、全部転入世帯への配布など必要に応じて対応を行っており、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・旭市市勢要覧を発刊については概ね目的は達成している。 ・近隣市町の担当者情報交換会などで評価をうけたこともあり、また送られてくる他市町の要覧と比較しても、企画内容、完成度等、ある程度の水準に達していると考ええる。 ・今後に向けて情報(企画)を集約(削減)するなど、簡素化した誌面づくりを検討する。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)		※2～3年後を目処にした方向性		(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
☒ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し	☐ 事業統廃合・連携(関連事業)		
☒ 事業のやり方改善による成果向上	☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減			
☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化			
☐ 廃止・休止				
				
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？				
いつまでに	なにを、どうするのか？			
①平成30年度	①次回も要覧単体で冊子として作成する。情報(企画)を集約(削減)と、文章より写真を多く使い、読ませる紙面から、見せる紙面の採用を検討する。			
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
①・他市町の紙面の情報を確認したり、時代の傾向(読ませる紙面から見せる紙面に変わってきている)を見たりしながら、今後の紙面づくりに反映させる。				

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			